プレスリリース

平成26年12月15日
近畿中国森林管理局
広 島 森 林 管 理 署

８月20日の広島豪雨災害における
災害復旧事業計画等に係る説明会の概要について

近畿中国森林管理局広島森林管理署では、12月12日に当署会議室において、治山・土木事業者を対象に８月20日の広島豪雨災害における災害復旧事業計画等の説明会を下記のとおり開催しました。

冒頭、飯田計画保全部長及び冨田広島森林管理署長から、説明会開催の趣旨や災害復旧に向けた林野庁の取組への協力要請などの挨拶がありました。

当日は37社、46名の方々が参加され、治山工事に係る設計内容等に関し御質問を頂きましたので、その概要をお知らせします。

記

１　災害復旧事業計画等について
①発注見通し等について
②各工事箇所の施工内容等

２　事業者の皆様から頂いた質問と回答

質問　コンクリート残存型枠について、運搬、設置にはクレーン車が必要であり、クレーン車が通行できる仮設道となっているのか。

回答　仮設道には急勾配の箇所もあるが、現地の状況に応じ仮設道の線形等について監督職員と協議の上、設計変更等で対応する考えである。

質問　コンクリート残存型枠の使用に当たり、仮設工にキャットウォークが設計してあるが、施工可能と考えているのか。

回答　コンクリート打設後、型枠と一体となった提体にキャットウォークを直接取り付けることとなるため、施工可能と考えている。なお、実行段階で実態と合わない場合は、監督職員と協議の上、設計変更等で対応する考えである。

質問　現場は急峻であり他省庁では仮設工としてワイヤーネット工を計画しているが、説明のあった仮設工や仕様書で安全な施工が可能と考えているのか。

回答　危険渓流とされている箇所には、仮設工としてワイヤーネット工を計画するなど安全な施工は確保していると考えている。なお、安全の確保上、対策が必要な場合は、監督職員と協議の上、設計変更等で対応する考えである。

※回答は、説明会後、再度、整理した内容を掲載しています。

広島森林管理署長からの挨拶

参加者からの質問の様子

【お問い合わせ先】

〒730-0822 広島県広島市中区吉島東3-2-51
近畿中国森林管理局　広島森林管理署　TEL:082-247-2201
次長　片原　三幸　　森林技術指導官　橋本　克哉